

授業科目(ナンバリング)	器械体操(CC207)			担当教員	相羽 枝莉子		
展開方法	実技	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授 業 の ね ら い							アクティブ・ラーニングの類型
中学校指導書体育編（文部科学省）に例示されている器械運動の基本的技を習得するとともに各技の系統的発展性を理解し、安全で合理的な練習方法（段階練習、系統練習）および補助法を知る。また、器具の安全な使用方法及び補助具の使用法を知る。							⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学 生 の 授 業 に お け る 到 達 目 標				評価手段・方法		評価比率
専門力	器械運動の専門性や安全面を理解し、グループでディスカッションしながらお互い指摘しあい、実践することができる。また、自ら実践して正しい動きを実演し発表することができる。				・受講者の発表・実技		60%
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	学生としてふさわしい態度で、意欲的に授業に取り組むことができる。道具の準備、後片付けを怠ることなく積極的に参加することで協調性を発揮することができる。				・受講者の受講態度 ・授業の準備、後片付けの積極性		20% 20%
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
各授業における授業態度（評価比率 20%）、毎回の授業前後に行う道具の準備、後片付けに対する積極性（評価比率 20%）と演技の発表会の成績（評価比率 60%）をもとに総合的に評価する。演技の発表会に関しては、ポートフォリオを使って個別にフィードバックを実施する。							
授 業 の 概 要							
グループワークで、課題として示された技を分担して担当し、その技の系統的・段階的・安全な練習方法をディスカッションし、互いに指導し合う。15 時間の学習においてグループで自分の記録を作成する。その過程で基本技能を養うとともに補助法・補助具の使用法、器具の安全な使用法を学ぶ。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
教科書：特になし 参考書：特になし 指定図書：「器械運動指導の手引」平成 27 年 3 月 文部科学省 株式会社東洋館出版社							
授業外における学修及び学生に期待すること							
・自分が担当する技の指導については教師になったつもりで指導すること。特に安全で段階的・系統的練習方法を事前に予習して指導に当たること。 ・毎回の授業前後に行う道具の準備、後片付けは怠らず、積極的に参加すること。 ・体調を整えて授業に望むこと。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	今の力を知る	グルーピング、過去にできていた技の確認、器具のセッティングの仕方と安全点検	予習：シラバスを熟読
2	集団マット運動	今できる易しい基礎技で仲間と調子を合わせて演技する	予習：マット運動の技を調べてくる
3	集団跳び箱運動	今できる易しい基礎技で仲間と調子を合わせて演技する	予習：跳び箱運動の技を調べてくる
4	集団鉄棒運動	今できる易しい基礎技で仲間と調子を合わせて演技する	予習：鉄棒運動の技を調べてくる
5	マット及び鉄棒運動①	マット（前転、後転、倒立）、鉄棒（前方支持回転）	復習：マット（前転、後転、倒立）を反復練習してくる
6	マット及び鉄棒運動②	マット（前転、後転、倒立）、鉄棒（前方支持回転）	復習：マット（前転、後転、倒立）を反復練習してくる
7	マット及び鉄棒運動③	マット（はねおき） 鉄棒（前方支持回転技群）	復習：マット（はねおき）を反復練習してくる
8	マット及び鉄棒運動④	マット（倒立回転・倒立回転跳び） 鉄棒（後方支持回転技群）	復習：マット（倒立回転・倒立回転跳び）を反復練習してくる
9	マット及び鉄棒運動⑤	マット（倒立回転・倒立回転跳び） 鉄棒（後方支持回転技群）	復習：マット（倒立回転・倒立回転跳び）を反復練習してくる
10	マット及び鉄棒運動⑥	マット（倒立回転・倒立回転跳び） 鉄棒（後方支持回転技群）	復習：マット（倒立回転・倒立回転跳び）を反復練習してくる
11	跳び箱運動①	跳び箱（切り返し系の技）	復習：跳び箱（切り返し系の技）を反復練習してくる
12	跳び箱運動②	跳び箱（台上前転、首・頭はね跳び）	復習：跳び箱（台上前転、首・頭はね跳び）を反復練習してくる
13	跳び箱運動③	跳び箱（側方・前方倒立回転跳び）	復習：跳び箱（側方・前方倒立回転跳び）を反復練習してくる
14	マット、鉄棒、跳び箱	選択技及び基本技の習得	復習：自分が興味ある種目のルールを調べてくる
15	器械体操のまとめ	器械体操に関する基礎知識、運動現象の理解したことをまとめる	復習：授業で扱った技を復習し、説明できるようにする